

スポーツセンターで 空手道選手権大会開催

10月24日、スポーツセンターでは第49回全日本空手道選手権道南地区予選大会が開催され、約80名の選手が集まる中、本町空手道少年団からも10名が参加しました。

空手道の大会は演武の完成度を競う『形』と、試合形式で相手と対峙する『組み手』の2種目があり、気迫のこもった声と緊張感漂う張り詰めた空気の中で試合が行われていました。

本町少年団員も額に汗を流し、元気な声で試合に臨んでいました。大会結果はお知らせ掲示板に掲載しています。



将来への大きな糧

上ノ国中学生が職場体験

10月27日、28日の2日間、上ノ国中学校2年生26名が町内外13事業所を訪れ、職場体験学習を行いました。

これは実際の「仕事」を体験することで、社会性を育み、自らの将来について深く考える機会を得ることを目的として毎年行われているもので、役場にも中学生2名が訪れ、水産商工課や農林課などで「仕事」を体験していました。

職場体験は、生徒たちにとって普段の学校生活では体験できない将来への大きな糧となったようです。



自ら育てた秋の味覚 町内小学校で収穫

10月12日に河北小学校、18日に上ノ国小学校、27日には滝沢小学校で児童たちが自ら育てた野菜の収穫を行いました。

これは実際の農作業を通じて「農業」や「食」への理解を深めることを目的に実施され、春に学校敷地内の畑にサツマイモなどを植えたものです。なかでも滝沢小学校では、トマトやキュウリも栽培し、収穫していました。

各校の児童たちは、泥だらけになりながらも一生懸命に収穫作業に取り組み、作業中には「焼き芋にして食べたい」など、食べることをとても楽しみにしている様子でした。



やめよう！不法投棄！

石崎地区で廃タイヤを撤去

10月25日から26日にかけて、役場住民課が石崎地区で不法投棄されていた廃タイヤなどの廃棄物を撤去しました。

不法投棄は町の景観を損なうだけでなく、自然環境の破壊や汚染など、住環境に悪影響を与える絶対許されない行為で、個人・法人に関わらず厳しい処罰の対象となる犯罪です。

本町の豊かな自然環境、住環境を守るためにも、不法投棄の現場に遭遇した場合には、警察、もしくは役場住民課までご連絡ください。

